

人形浄瑠璃乙女文楽公演会

乙女文楽は文楽人形を、女性が一人で操る人形浄瑠璃です

大正時代の終わり頃大阪で誕生

戦争や結婚などで一度消滅したのですが平成に入り52年ぶりに大阪に復活

男性が3人で操る人形とほぼ同じ大きさ・重さの人形を

女性が一人で操る

そのために人形に幾つかの工夫がなされています

日時: 6月30日(金) 午後2時～

会場: リュエルしなやか

参加費: 500円

演目: ① 二人三番叟
② 艶容女舞衣 <酒屋の段>
③ 傾城阿波鳴門 <巡礼唄の段>



プロフィール 吉田 光栄(よしたみつえ)

1997年、大阪にて研究者の呼びかけで乙女文楽の復活を知り入門。

踊りや楽器などの経験はないが人形が好きで、師匠吉田光子さんのもとで修業を積み、吉田姓を継承。現在座員は9名で40代～80代。

大阪より大津市北比良に移住後も、乙女文楽を広めるため公演活動を意欲的に行っている。

二年前より大津市水戸交流センターにて乙女文楽の稽古をしている。

申し込み・お問い合わせは“しなやかシニアの会”へ

大津市中央1丁目9-3 リュエルしなやか

Tel/Fax:077-558-7233 (水・木・金・土 11時～16時 留守電有)

URL: <http://www.shinayakaseniior.life.coocan.jp> e-mail: shinayaka077@nifty.com